



庭の栗の枝につき刺した
リンゴや、吊るしたリンゴ、
そしてヒエやアワの餌に
は、毎日沢山の鳥がやって
来てくれる。三密を避ける
ようにいわれる昨今だが、
鳥の世界は自由で、一密(リ
ンゴ)？を求めてやってき
て、ソーシャルディスタン
スゼロになることが多い。
リンゴだけは、食料の少
ない晚秋から春先までの唯
一の季節限定の野鳥用レス
トランのメニューだが、そ
れをついばむ愛らしい中に

庭にも来るヒヨドリが、今
年はリンゴをついばみにな
っている。

例年だと早くから当院の
診療所に来るヒヨドリが、今
年は

庭の栗の枝につき刺した
リンゴや、吊るしたリンゴ、
そしてヒエやアワの餌に
は、毎日沢山の鳥がやって
来てくれる。三密を避ける
ようにいわれる昨今だが、
鳥の世界は自由で、一密(リ
ンゴ)？を求めてやってき
て、ソーシャルディスタン
スゼロになることが多い。
リンゴだけは、食料の少
ない晚秋から春先までの唯
一の季節限定の野鳥用レス
トランのメニューだが、そ
れをついばむ愛らしい中に

庭にも来るヒヨドリが、今
年は

信州口腔外科インプラントセンター 北村 豊

メジロの視力表？

も凜とした野鳥の姿は、診療所に来院される患者さんや、私達スタッフの目を楽しませ、さらにそれを観察する者的心を豊かにしてくれる、と感じているのは私だけだろうか……。

日本では冬鳥で、今年は1月中旬頃より毎日来て同じ枝に刺したリンゴの指定席が大のお気に入りで常連客だった“ツグミ”も、ヒヨドリの出現と共にパッタリと来なくなつたのはとても淋しい。もちろんのこと、幼稚園児のように名札がぶら下がつていなかつたので定かではないが、同一個体が毎日一羽だけで飛来していた可能性が高いと推測している。

この鳥の名前の由来ともいふと他の野鳥たちを追い払うと他の野鳥たちを追い払うとする性格を除けば、姿はなかなかスマートで美しいとは私も認めているのだが……。

先週の土曜日に、診療所の裏のお茶の木の垣根の近くで元気のないメジロを保護した。外敵に襲われた形跡もなく、放鳥すると近所に多いネコに食べられることが懸念して、野鳥を飼つてはいけないことを知りつつ、週末でもあったので仕事なく保護することとし、

しかし、このアイリングがくちばしに近い前方部で一部切れていることをご存知だろうか？そのアイリングの形状は、皆さんにも眼鏡などで馴染みの、“大小の円形の一部が途切れた視力表”的「ランドルト環」をイメージさせる形状をしている。

日本で観察できる野鳥の中でもかなり小形の種類に入れるメジロのアイリングのミ位とさらに狭く、タンザニアの視力11・0の人なら

わたくしの家で二泊三日、三食付きで療養して回復した。手の中に抱いてこのメジロをごく間近にわくわくしながら観察するのは初めての経験だったが、容姿端麗で才色兼備な美しい鳥だとつくづく思った。



この鳥の名前の由来ともいふと他の野鳥たちを追い払うと他の野鳥たちを追い払うとする性格を除けば、姿はなかなかスマートで美しいとは私も認めているのだが……。

しかし、タンザニアの都市部で生活する人では、視力は1・0前後となるそうである。その視力とは55m先から1・45mのランドルト環の狭い切れ目の方向が確認できるという、驚異的視力であるのだ！

しかし、タンザニアの都市部で生活する人では、視力は1・0前後となるそうである。その視力とは55m先から1・45mのランドルト環の狭い切れ目の方向が確認できるという、驚異的視力であるのだ！

メジロの写真から推定すると、その切れ目は実物で1ミリ位とさらに狭く、タンザニアの視力11・0の人なら環境”にほとんどの日本人が置かれていることにも環境”にほとんどの日本人が置かれていることにも付いておくことは肝要であると考えられる。